



「小さな習慣が大きな成長をつくる」

校長 山本 俊次

早いもので、1学期も本日で終了です。新年度が始まってからの約4か月、皆さんは学習や部活動、学校行事を通して、それぞれに成長を重ねてきたことと思います。一方で、4月に立てた目標を振り返ってみると、「思うように続かなかった」「途中で忘れてしまった」という人もいるかもしれません。

教育専門家の原田隆史さんは、大谷翔平選手の活躍の背景について、「人が成長できない時には4つの阻害原因がある」と分析しています。それは、「夢や目標をきちんと描けていない」「そこに至るまでの行動を設定できない」「その行動を継続できない」「失敗の振り返りをしていない」の4つです。大谷選手は高校時代から具体的な目標を設定し、そのために必要な行動を明確にして日々積み重ねてきたことで知られています。

私たちは、大きな目標ばかりに目を向けがちです。しかし、本当に大切なのは、その目標に向かう毎日の行動です。「テストでよい点を取りたい」という目標なら、「毎日30分家庭学習をする」。「体力をつけたい」なら、「毎日走る習慣をつくる」など、成長を生み出すのは日々の行動です。

アメリカのプロバスケットボール界で活躍したマイケル・ジョーダンさんは、「私はキャリアの中で9000回以上のシュートを外した。だからこそ成功した」と語っています。成功した人は失敗しなかった人ではなく、失敗しても挑戦をやめなかった人です。原田さんのいう「振り返り」とは、失敗を悔やむことではなく、次の成功につなげるために考えることなのだと思います。

もうすぐ夏休みを迎えます。長い休みは自由な時間が増える反面、生活リズムが乱れやすい時期でもあります。しかし見方を変えれば、自分の習慣をつくる絶好の機会です。毎日の読書、家庭学習、体力づくり、家の手伝いなど、小さなことで構いません。続けられることを一つ決めてみてください。

人の成長は、特別な一日によって生まれるものではありません。何気ない一日の積み重ねによって生まれます。1学期の締めくくりとして自分の目標を見直し、夏休みにはその目標に向かう良い習慣づくりに挑戦してほしいと思います。夏休み明けに、一回り成長した皆さんに会えることを楽しみにしています。

ふるさと教育潮踊り体験会

7月2日(木)の6時間目、1年生を対象に「ふるさと教育 潮踊り体験会」を実施しました。講師は「藤間流扇玉会」から3名来校し、「おたる潮音頭」「潮踊り唄」2つの踊りを練習しました。

体験会のはじめには潮ねりこみが始まり今年で60年であること、踊りの中に「天狗山」「波の様子」「歌舞伎」など小樽にゆかりのものや歴史あるものが振り付けに含まれていることなどを講師から説明を聞き、実際に踊りを学んでいきました。最後には1年生全員が体育館いっぱいに広がり輪を作り、「ソーレ」「わっしょい」など大きなかけ声をかけながら踊りきることができました。



1 学期放課後学習会について

6月29日(月)～7月6日(月)までの1週間、定期テストに向けた放課後学習会を実施しました。この学習会は北海道教育委員会の「教職員定数加配事業」を活用し、学習の方法などの個別指導を行い、家庭学習習慣の定着を図るものです。延べ200名ほどの生徒が参加し、それぞれが先生方からアドバイスをもらいながらテストに向けた勉強に取り組んでいました。

夏休み中は、8月18日(火)、19日(水)の2日間学習会を行いますので、是非参加してください。



標準学力調査について

4月23日(木)に2年生を対象に標準学力調査を実施し、結果については保護者に返却しています。

小学校のときと比べて、国語は正答率が低下し、数学では図形分野の正答率を伸ばすことができました。教科での課題解決に向けて、国語では「内容を整理して文章を書く習慣」、数学では「日常の事例を活用した関数の学習」などに取り組むなど、今後の授業改善に活かしていきます。

8月行事予定

1	土	
2	日	
3	月	
4	火	
5	水	
6	木	
7	金	
8	土	
9	日	
10	月	
11	火	山の日 学校閉庁日
12	水	学校閉庁日
13	木	学校閉庁日
14	金	学校閉庁日
15	土	学校閉庁日
16	日	学校閉庁日
17	月	
18	火	夏休み学習会(9:00～)
19	水	夏休み学習会(9:00～)
20	木	職員会議⑨ 研修日⑤ 第74回日本PTA全国研究大会(～22日)
21	金	小中始業式
22	土	
23	日	
24	月	
25	火	市P連事務局会議④
26	水	市教研評議員研修会②
27	木	
28	金	潮陵学校説明会(13:00～)
29	土	未来創造体験入学(9:00～) 吹奏楽部演奏(ストリートピアノ・サンモール1番街)
30	日	
31	月	

夏休みには交通事故・海の事故等に気をつけることと、水産資源の保護にも注意してください。

